

ようになった」と話す。

こうした事態を背景に、利用運送の事業許可取得を決意する。これまでサービスの加え、新たなサービスに物流の提案が可能になった。社長が前職で物流にかかわる業務に携わっていたこともあり、物流ネットワークの準備もあるそうだ。

「いままでは、物流の相談が来ても、事業許可がないためにお客様の力になれないケースもあった。しかし、事業許可を取得したからには、お客様へ、物流の部分でも良いサービスができるよう提案が可能になる。お客様に適切な配送会社・車両を紹介しつつ、お客様を物流のプロに近づけることも可能」としている。

また、物流企業に対しても「配送事業は利益率が高い配送案件は

かりではなく、利益を上げるのに苦労している企業も少なくなっているのではないかと。適切な条件で配送会社の下へ仕事が届くようにすることで両社の力になれば」としている。今後は、アルミパネル・ルーフ・ルーバーの他、リフォーム材などの配送を中心に軽貨物クラスから大型車両まで、様々な建築に関わる配送をサポートしていくという。

そんな同社では、アルミ・パネルなどの製作から物流・施工・廃棄といった、一連の流れのワンストップ化を目標に掲げている。社長は「クラフトに相談すれば何とかなる」といった形で、お客様が困ったときにまず頼っていただける存在になれば」としている。

(小倉太郎)